

584名の**請願**は **継続**に！

本当は **不採択**しかなかった**請願**を受け付け

継続にした二重の **あやまい！！**

委員会**は**審議したかのような

アリバイづくりの おしゃべり？！

東北関東大震災の影響で町田市議会の議事日程の変更があり、一日遅れの3月15日、町田市政を考える会・草の根(以下草の根)が提出した**請願第1号** 町田市に『町田市特別職報酬等及び政務調査費審議会を開き、町田市議会議員の期末手当の適正な金額を検討すること』を求める**請願**(賛同署名数 584人)が、総務常任委員会で審査されました。草の根としての意見陳述(5分)の後、議員から以下のような意見がありました。以下は要約です。

*詳しくは、後日、町田市のホームページ・町田市議会会議録に総務常任委員会議事録として掲載されます。お読みください

A議員「期末手当は要らないと思っている。毎年、毎年、非公式だけれど市長には町田市特別職報酬等及び政務調査費審議会(以下報酬審)を開いてほしいと言ってきた。報酬審は市長が招集するものだから議会としては言いにくい。直接、議会に議員の期末手当を下げる**請願**にしてくれた方がよかった。」B議員「学識を交えて審議会をひらいてもいいと思うが…」C議員「市長に直接なぜ要望しないのか？その方法がある。」D議員「議員は自ら議会改革を始めている。12月議会で議決された日割り計算…の条例改正など…。**請願**の内容は十分理解できる。」E議員「市民からみて透明性というか、期末手当の月数はどういう風にみえるか」F議員「報酬審議会を開催することは望んでいる」

*市民が気づく前から「非公式だがすでに問題提起している」と、この場で言う意味が判かりません。毎年言い続けてきたという議員さん、5年も6年もの間、どのように行動してきたのでしょうか？議員の期末手当の問題だからこそ、議会を通しての**請願**にしたのです。他市と違い、町田市には、期末手当を減額している特別職と、まったく知らんふりの**特別な特別職**があるということが、どうしても市民には理解できません。議員は議会改革を自ら始めていると胸を張りますが、12月議会で条例改正された日割り計算…の議論を議事録で読む限り、とても議論とは云えません。「ごくごく簡単な判断を6月、9月、12月の議会まで時間だけかけて引き伸ばしただけだ。」「時間の浪費そのもの？」と怒る市民もいます。だからこそ、第三者の学識の方々を入れた報酬審を開き、検討してほしいと考えたのです。そうでないと議論にもならず、もっと本心を言えば、私たち市民がガタガタ言うことではなく、是正するべきだと批判されたならば、議員自らが率先して取り組

むべき問題ではないのでしょうか？他人事のような審議の雰囲気、傍聴者は皆あつけにとられました。

意見陳述終了後、審査が始まりました。

議員から説明を求められた総務部長は、今回提出した請願の「町田市特別職報酬等及び政務調査費審議会（以下報酬審）」の条例には市議会議員の期末手当の件は含まれない旨の説明がありました。つまり、議員の期末手当の検討を求めてきた草の根の請願は、報酬審の条例を改正しなければ実現できないということでした。この時点で、委員会での審査は当然採択されないものと思いましたが、驚いたことに結果は「継続」、6月議会でまた審査をするという結論でした。

2010年9月より、草の根が町田市議会議員の期末手当がダントツ高いことについて問題提起をし、今回の請願に取り組んでいたことは、議会事務局も、総務部も承知していたはずですが。請願しても現在の町田市の条例では、願意がはじめから実現しないことが判っているながら、請願を受け付けた議会事務局、報酬審について、情報提供のやり取りをしていた総務部からは何の情報もないまま、請願の審査の場で市民は初めてこの現実を知りました。

翌、3月16日朝、町田市長、町田市議会議長宛に抗議文を出し、文書で回答することを求めました。3月18日には、議会事務局を通して、総務常任委員会委員長、副委員長に緊急質問状を提出し、遅くとも本会議前日の3月28日には回答が草の根に届くよう、要請しました。

①草の根・意見陳述 ②市長・議長あて抗議文 ③総務常任委員会委員長への緊急質問状をご覧ください。

*** 署名活動にご協力頂いた市民の皆さま、賛同して下さった市民の皆さま、本当に申し訳ありません。すでに提出しました抗議文や緊急質問状の回答結果をもとに、新たに議会への請願か、あるいは議員の期末手当を定めている条例改正の直接請求か…次なる行動を準備したいと考えます。**

*** 「三多摩1位、ダントツ 高い 町田市議会議員の期末手当 5.2ヶ月」を是正すべきという批判に、ほうかむり(聞こえないふりをしている)するようでは、議会を改革することはできません！**

*** 市民の皆様、私たちが選んだ議員さんたちが、どう行動するのか、目を離さずしっかり見ていきましょう！！**

草の根・ホームページ

<http://www.machida-kusanone.com/index.htm>